

高齢になっても住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けたい…。多くの人がそう願っているのではないのでしょうか。高齢化が進み、介護を必要とする方が増える一方で、それをささえる介護の担い手がなかなか増えない状況にあります。これからは、住民一人ひとりが助け合いのまちづくりをどのように進めていくか、共に考えていくことが大切になっていきます。

「第4回たすけ愛♡はしもと会議」を行いました

高齢化における橋本市のたすけあいの仕組みについて話し合う「たすけ愛♡はしもと（第1層協議体）」を設立。8月2日（水）に第4回目の会議を開催しました。



7月8日に開催した「みんなで創ろう たすけ愛♡はしもとフォーラム」の目的は、フォーラムの開催をきっかけに各地域に話し合いをする場（第2層協議体）の設置につなげていくことでした。進め方としては、参加してくれた方々の中で「協議体に参加したい」「助け合い活動に参加したい」といった方約100人の方を中心に各地区で準備会を開いていきます。

今日の会議では、各地区での準備会の進め方について、第1層協議体としてどのような支援ができるか等をざっくばらんに話し合いあいました。

第2層協議体の設置を進めていくために！
各委員の意見は次にとおりです。

- ・第2層協議体は9地区での設置となっているが、地区にはそれぞれサロンであったり、げんきらり～教室など住民の自主的な活動があって活動の内容にも違いがある。
- ・地域によってはそういった活動が有るところと無いところもあるので差がある。
- ・どの地区も同じレベルで進めていくべきか、また、第1層協議体委員としてどうかかわればいいのか。

という意見に、さわやか福祉財団の担当リーダー森氏からは「サロンもげんきらり～も地域に住む高齢者の居場所という考え方もできますが、フォーラムで堀田会長が基調講演して、みなさんに伝えたかったのは、週2～3回開いている常設型の居場所です。例えば居場所を実施するためにはどうしたらよいかということをも第2層協議体で話し合うことができるのではないのでしょうか。そして、第1層協議体委員の役割は第2層協議体を地域に広げていくための協力部隊になることだと考えます」と助言をいただきました。他には…

- ・準備会に参加してくれる人が少ないことが事前に分かっている地域は、出来るだけ多くの人に参加してもらえよう工夫が必要。
- ・各地区の老人クラブや民生委員へ声かけしたほうが良いのでは。
- ・全ての地区を同じレベルで進めていくのか？

という意見には「地域づくりの取り組みはいろいろあると思いますので進み方に差があって良いと思う。大切なことは共通理解ではないでしょうか」といった助言をいただきました。



さあいよいよ、市内9地区へ出向き「第2層協議体作り」が始まります。第1層の委員さんと同様に私たちも不安いっぱいですが、大事なことは協議体の設置がゴールではなくて、継続的に続けていけるような協議体を目指して準備会については数回開催していき、しっかりみなさんとの話し合いを積みかさねていくことだと思っています。紙面の裏面では各地区の準備会の様子を掲載していますのでご覧ください。



橋本
地区

8/29(火)

市保健福祉センター

(参加者 19人) 区長 6、民生 1、老人クラブ 1、一般 9、第1層委員 2

【主な意見】

- ・まずは地域の社会資源や活動をみんなで共有するために次回は情報を持ち寄ろう。
- ・地域で行っている活動をより充実していくためにどうしたらよいかなど色々な情報を持ち寄って話し合いができる協議体がいい。



山田
地区

9/8(金)

山田地区公民館

(参加者 13人) 区長 7、老人クラブ 1、一般 4、第1層委員 1

【主な意見】

- ・自然と隣近所で助け合いをしているので「制度化」で縛ってしまうと相互の関係が難しくなる。
- ・まずは、それぞれの地区で、どんな課題があるか整理しては。
- ・「協議体」という名称が難しい。
- ・取り組みをするテーマを決める。



紀見
地区

8/22(火)

紀見北地区公民館

(参加者 35人) 区長 10、民生 2、老人クラブ 1、一般 20、第1層委員 2

【主な意見】

- ・同じ紀見地区といっても面積も広く、昔からの地域やマンションがある地域で人口 2千人。共通した課題が少ない。
- ・1つの協議体よりは、小学校もしくは中学校圏域毎に設置するほうが良いのではないかと。



隅田
地区

8/25(金)

隅田地区公民館

(参加者 15人) 区長 1、民生 1、一般 11、第1層委員 2

【主な意見】

- ・子ども、高齢者、障がいがある人みんな助け合いできる地域。
- ・支援される人も支援する側になれる。世代を超えてそんな助け合いをやっていききたい。
- ・まずは高齢者を主にして考えて。
- ・次回は区長にも来てもらって。



恋野
地区

8/30(水)

恋野地区公民館

(参加者 25人) 区長 5、民生 1、老人クラブ 3、一般 15、第1層委員 1

【主な意見】

- ・集会所は地理的なことや収容人数の問題もあって催しがしづらい。環境を整えてほしい。
- ・買い物などの移動問題。
- ・50代ですが、今できることはお手伝いをしたいと老後のことも考えてみなさんと一緒に考えたい。



学文路
地区

9/6(水)

学文路地区公民館

(参加者 8人) 区長 6、老人クラブ 1、一般 1

【主な意見】

- ・洗濯や買い物ができなくても今は家族で支え合っているけど、今後は高齢者も増えていくので考えていく必要がある。
- ・学文路地区全体で勉強会などを開いて意欲的な人を発掘してから準備会を再度開いてはどうかと。



応其
地区

9/7(木)

高野口地区公民館

(参加者 9人) 老人クラブ 2、一般 6、第1層委員 1

【主な意見】

- ・協議体のメンバーにはいろんな世代の方や職種の方にもはいてほしい。
- ・回覧板も声かけのキッカケなので気軽に声かけできる地域が良い。
- ・区長や自治会長にも意見を聞きたい。



高野口
地区

8/17(木)

高野口地区公民館

(参加者 13人) 区長 3、老人クラブ 2、一般 6、第1層委員 2

【主な意見】

- ・近所同士の関係が希薄化していることがずっと気になっていた。お互い様って言うことが難しくなっている。協議体で話し合っていきたい。
- ・若い世代の方も地域の催しで担い手となってきている。



信太
地区

8/30(水)

農業構造改選センター

(参加者 22人) 区長 6、老人クラブ 1、一般 14、第1層委員 1

【主な意見】

- ・「困っている」「ちょっと助けてほしい」という SOS を気軽に言える場が地域にあれば…
- ・個別の課題だと思っていたことが各区にも共通した課題であったりするかもしれない。そんな情報まずは持ち寄って!

